

鼻 血

鼻血は次の2つの種類に分けられます。

鼻そのものに原因がある場合。(鼻血のほとんど全てがこれに含まれます)

血液の病気、高血圧など、鼻以外に原因がある場合。(まれです)

鼻血の原因

鼻血の90%は鼻の出口に近い部分の小さな血管から出るので。

1. 鼻をぶつける事。
2. 鼻をいじる事。(鼻炎の人は、鼻をいじるために、鼻血が出やすくなります)

鼻血の治療

鼻炎、アレルギー性鼻炎を治療して、鼻血の出やすい状態をのぞく事が重要です。

鼻の入口に当院で処方した軟膏をぬり、血止めの薬をおのみ下さい。

自宅で鼻血が出た場合は、鼻にガーゼか綿花をいれて、鼻を押さえて下さい。

耳鼻科医は、出血部位がはっきりわかる場合は、その部分を電気で凝固します。同時にスポンゼル(止血作用のあるあるスポンジの様なもの)を入れることもあります。)

ガーゼを強く入れて血を止める事もあります。耳鼻科医が入れたガーゼは、3~4日後に耳鼻科医がとります。それ迄、絶対に自分で取らないでください。すぐに、ガーゼを取ると、また鼻血が出て、ガーゼを入れなおさなければなりません。(ガーゼを入れる痛い思いをくりかえす事になります)

多量の鼻血で、出血部位が不明の場合には入院が必要となる事があります。

歯をみがく時に血が出やすかったり、けがをした時に血が止まりにくい場合には、血液そのものに病気があるのかもしれませんが。その場合には、血液検査が必要になります。

内科的の病気で、“血液のかたまりにくい薬”が投薬されている事があります。その場合は鼻血が出やすくなります。高血圧の人は、血圧の管理を十分して下さい。

出血部位が不明の鼻血の場合は、“鼻の腫瘍”を疑わなければならない事もあります。

矢野耳鼻咽喉科	藤沢市善行 1-25-11	8 1	3 5 4 1
医学博士	日本耳鼻咽喉科学会専門医	矢野 潮	
	日本耳鼻咽喉科学会専門医	矢野 ゆかり	
	日本耳鼻咽喉科学会専門医	矢野 さゆり	